



那霸市立教育研究所 所報

令和7年度 6月号

所長 棚原 歩

生成AIが拓く教育現場の新たな対話の道具

学校現場では今、あらゆる業務が複雑化しています。授業準備・学級経営・保護者対応・校務処理・部活動指導に加え、「ICT環境の整備や多様な学びの保障など、教職員に求められる役割は多岐にわたります。このような状況の中、時間的・心理的なゆとりをどう確保し、本来注力すべき教育活動に集中できる環境を整えるかが、大きな課題です。近年注目されているのが、「生成AI」と呼ばれる対話型の人工知能技術です。これは、私たちの問い合わせ(プロンプト)に応じて文章を作成したり、アイデアを提案したり、情報を整理したりする、新しい形の「思考の補助具」とも言えます。この技術は、もはや遠い未来のものではなく、すでに全国の教育現場で、日々の業務や教育活動を支えるツールとして導入され始めています。

良い問い合わせがAIとの協働を生む

生成AIを効果的に活用するには、「どのように問い合わせるか」が重要です。AIへの指示文は「プロンプト」と呼ばれ、その設計によって得られる応答の質や実用性が大きく左右されます。良質なプロンプトには、以下の五つの視点を意識することが有効です。

- 人物 誰の視点で答えてほしいか(例 小学校の担任、中学校の教務主任)
- 内容 何を依頼しているのか(例 学級通信の草案作成)
- 形式・語調 どのような文体・トーンで出力してほしいか(例 保護者向け丁寧な表現)
- 制約 長さや対象の条件(例 六百字以内、小学生でも分かる語彙で)
- 例 求める回答の参考(例 確認テストの例題)

このような「丁寧な問い合わせ」によって、生成AIは現実的かつ教育現場でそのまま活用できる応答を返してくれるようになります。

学校現場で広がる活用のかたち

生成AIは、既に様々な教育場面で役立てられています。以下はその一部です。

授業づくり 「中学一年生向けの数学の復習テストを、基礎・標準・応用の三段階に分けて作成してください」といった指示で、数分以内に問題・解答・解説が生成されます。多様な学力に応じた教材づくりや振り返り返

りにも活用できます。

学級運営・保護者対応 「今週の学級通信を六百字でまとめてください。グループ活動での児童の成長を中心にお伝えください」と依頼す

ると、温かみのある文章が出来られます。多言語への翻訳も可能で、多様な家庭への配慮にもつながります。

校務の効率化 会議メモの要約やPTA資料・式辞の草案作成により、文章作成の負担を軽減できます。さらにクラウドと連携することで、共有・保存もスムーズに行えます。

部活動・個別支援

運動部の顧問経験がない教職員でも、「バスケットボールの練習メニューを二時間構成で安全に」と依頼すれば、無理のない練習プランが得られます。特別支援の現場でも、音読が苦手な児童向けの練習文や視覚教材作成などに活用できます。

教職員の「創造の時間」を取り戻すために

生成AIは、すべてを自動で処理する「万能ツール」ではありません。むしろ、教職員の専門性や経験、感性を補完し、思考や創意工夫を支える「対話のパートナー」です。例えば授業後に「子どもたちの反応を踏まえて、次の授業改善案を考え」と依頼することで、気づきの整理や新たな視点が得られます。こうしたプロンプトの繰り返しを通じて、AIとのやり取り自体が振り返りや自己研鑽の機会となります。

今後求められるのは、「AIが使えるかどうか」ではなく、「どのように活用するか」という視点です。生成AIは、子どもと向き合う時間と質を高める道具であり、教職員の働き方を見直す鍵にもなり得るのです。最後に――まずは一つの「問い合わせから

那覇市内の小中学校でも「ICT環境の整備が進み、教職員の業務改善や授業の工夫が求められています。

生成AIの活用は、こうした日々の創意工夫と直結する可能性を秘めています。

「声かけをもつと前向きな言葉にしたい」「通信文をより簡潔に伝えたい」――そんな日々の小さな課題や違和感に対しても、生成AIは「相談相手」として寄り添ってくれます。

まずは一つ、身近な業務から問い合わせてみること。それが、これから教育実践をより豊かにする第一歩になるはずです。

7月 教育研究所事業

- | | |
|--------|----------------------------|
| 3日(木) | 初任者研修⑦ |
| 4日(金) | 中堅教諭等資質向上研修会③(道徳・特活) |
| 7日(月) | 教育講演会Ⅱ |
| 11日(金) | ICT情報教育推進部会③(オンライン) |
| 16日(水) | 中堅教諭等資質向上研修会④ |
| 22日(火) | 中堅教諭等資質向上研修会⑤(社会研修体験~8/23) |
| 23日(水) | 中間検討会Ⅱ |
| 30日(水) | 初任者研修⑧ |
| 31日(木) | 初任者研修⑨ |

□令和7年度 第124期教育研究員

7/3(木)	検証保育(浦崎研究員、大道みらいこども園)
7/4(金)	検証授業(新垣研究員、鏡原中学校)
11(金)	検証授業(大城研究員、松川小学校)
15(火)	検証授業(酒井研究員、高良小学校)
23(水)	中間検討会Ⅱ



指導案検討会 6/3



タブレット基礎講座 6/6

□各種研修・講座

	研究主任研(5/14) 講師：山内 かおり
	教育講演会Ⅰ(校務DX) 5/27 講師：大城 智紀 氏
	特活主任研(5/28) 実践発表：石田中 根間 純子
	教育法規講座Ⅰ 6/4、Ⅱ 6/16 講師：比嘉 俊博 氏
	情報教育研修②(情報モラル) 6/11 講師：高宮 修 氏

※詳細につきましては、6/20付インフォメーションをご確認ください。